

# 北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第419号 平成24年10月23日

## 市民合唱祭

10月20日、21日の両日、教育文化会館において札幌市民合唱祭が開かれました。

札幌市では、市民の皆さんの芸術文化活動を応援するため、音楽・演劇・舞踊・美術・文学等幅広い分野の創造発表活動を取り上げ、公演や発表、また、鑑賞の機会を提供する市民芸術祭を実施しており、市民合唱祭もその芸術祭の一つとして行われているものです。

合唱祭は、1部と2部に分かれており、1部は主に一般・職場・大学・高校のコーラスグループ、2部は主にPTA・その他のコーラスグループとなっています。

今年の参加グループは、1部83、2部44となっており、如何に合唱に親しんでいる方が多いかが分かっていくというものです。

もっとも、合唱を楽しんでいるのは、職場や学校単位のコーラスグループだけでなく、地域の中での仲間によるグループなど、実に沢山ありますので、合唱祭に参加しているのはその内のごく一部という事だと思います。

合唱祭では、優れた発表を行ったグループに対して「札幌市民芸術祭大賞」や「札幌市民芸術祭奨励賞」が贈呈されますが、参加している方々は賞を取ることが目的ではなく、教育文化会館のステージに立つことを楽しんでいるようです。

家内が地域の合唱団の一員として活動しており、今回の合唱祭にも出演しましたので、応援をかねて聴きに教育文化会館に行ってきました。

幾つかのグループの合唱を聞いてきましたが、まず感じたことは、いずれのグループの皆さんも合唱を楽しんでいる事が良く伝わってきました。合唱の巧拙はあっても、合唱を楽しむという点では変わりないという事でしょう。

また、いつも感じる事ですが、2部の方は女性の参加者が非常に多いという事に加え、平均年齢がかなり高いというのが特徴でしょうか。でも、合唱している姿を拝見していると、美しく老いる事の素晴らしさを、改めて実感します。

実は私も2年前まで男声合唱団に所属していましたが、教育文化会館の舞台に何度か立ったことがあります。歌い終わった後の気分は最高でした。「舞台に一度立ったらその味が忘れられない」といいますが、それは良く分かります。今は、色々と忙しくなり、練習時間が取れなくなった為、暫く活動を休止していますが、

ユニホームも揃えていますので、いずれ復帰したいなと思っています。

合唱の魅力は、まず、共同作業であるという事が挙げられると思います。私の所属していた合唱団でも、テノールからバスまで4つのパートに別れて歌いますので、メンバーの皆さんと気持ちを一つにしなければ、一曲を演奏することは出来ません。皆と一緒に一つの目標に向かって練習に汗（私の場合は冷や汗でしたが）を流す、これが一番の魅力だといえるでしょう。

また、腹の底から声を出すという事も、魅力の一つです。職場で大きな声を出すのは齟齬ものですが、合唱では、大きな声を出しても誰も文句はいいませんから、ストレス解消にはもってこいです。

更に、合唱を楽しむというのは、年齢を問いません。私のような高齢者にとっては、若い人と一緒に楽しむというのは、最高だと思います。人生80年時代ですから、もっともっと合唱を楽しむお年寄りが出てきてても良いと思います。

最後に付け加えるとすれば、コンサートなどを開くと、大抵の人は「かなりレベルが上がって来ましたね」等と褒めてくださいます。まあ、ヨイショだと分かっているとしても気分が悪かろうはずはありません。

こんな事を書いている内に、何となく喉がむずむずして来ました。

（塾頭：吉田 洋一）